



理学部 地球物理学科図書室

昭和44年9月に図書室整備委員会が発足し、昭和45年3月に各研究室の図書を集めてできた図書室である。元講義室に書架を置き、書庫、閲覧室、事務室は一室に納まっている。洋雑誌83種と地球物理関係の学会誌はほとんどそろっているので、工学部・農学部の利用者が多い。日当りの良い閲覧室は3・4回生の自習の場となり喜ばれている。図書委員会が図書の選定を行なうが、予算とからんで苦勞が多い。近く2講座は移転するため、閲覧室が拡張される計画なので奉仕活動も拡大していきたい。

工学部 金属系図書室

資源工学・冶金学・金属加工学教室図書室は明治31年理工科大学の採鉱冶金学科の開設と同時に設立されたものである。今は工学部六号館の中にあり、総面積は350m²、蔵書数約4,000冊、和洋雑誌400種、年間増加冊数は約1,000冊である。職員は2名で、利用はすべて開架方式を採用している。他教室の利用者も多い。新刊書は各講座に所蔵されており、図書室の2/3は雑誌である。図書はまだまだ不十分である。書庫を3年前に拡張したにもかかわらず、すでに飽和状態であるから、現在の閲覧室を書庫に改

造し、閲覧室は別の快適な場所に設置したいと思っている。

工学部 情報工学科図書室

昭和45年に新設された学科で、建物は大型計算機センターの南に位置する4階建である。昨年5月に新築され、緑の芝生に囲まれた新しさに満ちあふれた建物の3階西側に図書室がある。明るい閲覧室(56.25m², 20席)と書庫(3万冊収容可能)はすべて開架方式をとっており、和洋雑誌74種、単行書約2,300冊が備えられている。学生用図書の充実に重点を置きながら、当学科独自の特色ある書籍の充実に努めている。当学科の教官の著書は寄贈して頂いており、大いに利用して頂きたい。

工学部化学工学科図書室

当図書室は、工学部 館の南棟二階に位置している。職員は1名。閲覧室(12席)・書庫・文献複写室の3室がある。図普室には学科の教工会議で選定された学科共通の単行書・雑誌が備えている。購入洋雑誌は、新着後、一研究室4日間づつ回覧している。西部構内から43年に移転して座席数は減ったが、学生の利用は多い。衛生工学・工業化学など隣接学科や薬学部の人達にも多く利用されている。

◇2巻4号(40年)から続いた「東西南北」は、ひと通り部局図書室の紹介と問題提起を終えたので、今回でとじます。職員のみなさんの今後のご活躍を期待しています。

あとかぎ：すっかり春らしくなり、街は観光客で一杯です。ところで最近の朝日ジャーナルに、地方大学の図書館の貧困の実例と、故大宅壮一氏が図書館に求められないものを集めたという記事をみて、図書館としてやるべきことを改めて思い知らされました。まだまだやるべきことが数多くあります。頑張りましょう。図書館に春が訪れるまで。
(武内)